

## 研究報告書

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）  
総括研究報告書がん検診における‘Shared Decision Making’推進と利益不利益バランス  
に基づく受診意思決定支援ツール開発のための研究

研究代表者 濱島ちさと 帝京大学医療技術学部・教授

## 研究要旨

我が国においても受診者への適切な情報提供を行い、受診者の視点からがん検診の必要性を判断する‘Shared Decision Making’が今後重要となる。その結果、科学的根拠に基づく利益と不利益を個人の価値観に照らし合わせ、最良の方法が選択できることが望ましい。本研究では、我が国においても、がん検診の利益不利益を勘案して受診選択を可能とするためのDecision Aids（意思決定支援ツール）開発を目標とし、研究を進めている。文献レビューにより先行研究におけるDecision Aidsの有効性、都道府県におけるがん検診対策を検討すると共に、患者の語りの質的研究、地域・職域における受診勧奨対策の検討を行った。これらの成果をもとに、我が国におけるがん検診の受診率対策に活用できるDecision Aidsの開発を検討していく。

## 研究分担者：

渡邊 清高（帝京大学医学部・病院教授）  
後藤 励（慶應義塾大学大学院経営管理研究科・教授）  
寺澤 晃彦（藤田医科大学医学部・教授）  
細野 覚代（国立研究開発法人国立がん研究センター社会と健康研究センター検診研究部検診評価研究室・室長）  
山崎 恭子（帝京大学医療技術学部・教授）

（利益・不利益等）及び個別要素（自己負担・時間費用等）のレビューを行っている。

③IARCと連携し、細胞診による子宮頸がん検診の不利益、子宮頸がん検診の新技术に関するレビューを行った。

2. 2018年度地域保健・健康増進事業報告と市区町村におけるがん検診の実施状況調査データを用いて、個別受診勧奨の有無とがん検診受診率について検討した。

3. 都道府県におけるがん検診の効果的な実施に資する取り組みと今後の方向性を明らかにするため、2018年3月に取りまとめられた都道府県がん対策推進計画のレビュー計画を評価した。

4. がん検診の受診要因決定に関する行動経済学も含めた研究を整理し、令和3年度に行う予定の調査の準備を行った。

5. 「健康と病いの語りディペックス・ジャパン」データベース (<https://www.dipex-j.org/about/>) より、乳がん、大腸がん患者の語りについて、がん検診のテーマ分析を行った。

## 6. 受診支援対策

①水戸市において大腸がん検診について、FIT郵送、Nurse navigation を含む勧奨モデルの試行調査を行った。

②職域において、大腸がん検診要精検者を対象とし、精検受診支援を開始した。

## A. 研究目的

我が国においても受診者への適切な情報提供を行い、受診者の視点からがん検診の必要性を判断する‘Shared Decision Making’が今後重要となる。その結果、科学的根拠に基づく利益と不利益を個人の価値観に照らし合わせ、最良の方法が選択できることが望ましい。本研究では、我が国においても、がん検診の利益不利益を勘案して受診選択を可能とするためのDecision Aids（意思決定支援ツール）開発を目標とする。

## B. 研究方法

【初年度】諸外国における利益不利益の情報提供の系統的調査、大腸がん検診勧奨試行調査を行う。

【2年度】行動経済学における受診者選択について調査し、科学的根拠と現場のギャップ解消を検討する。これらの科学的根拠をベースにDecision Aids案を作成する。

【3年度】Decision Aids案の外部評価・試行調査を経て最終版を完成する。医療者と受診者がDecision Aidsを共有し活用するための‘Shared Decision Making’を進めるためのマニュアルを作成する。

## C. 研究結果

## 1. 情報提供に関する文献レビュー

①Fact Boxを含めたDecision Aidsの効果についてシステムティックレビューを行った。

②がん検診の意思決定要因について、検診要素

## D. 考察

今後、がん検診受診の判断にも臨床医と受診者が共に行う‘Shared Decision Making’が重要となる。しかし、がん検診を担当する医師・保健師の時間的制約やがん検診の利益の過大評価などから、その環境は整っていない。受診者ががん検診の利益だけでなく、不利益を理解し、個人の価値観に基づいた選択を行うことは、がん検診の継続受診には不可欠のプロセスである。そのため、先行研究のみならず、我が国における受診障壁などの問題を受診者の視点で把握し、情報提供や支援対策に結びつけていくことが必要である。

## E. 結論

文献レビューにより先行研究におけるDecision Aidsの有効性評価や都道府県におけるがん検診対策の検討と共に、患者の語りの質的研究、地域・職域における受診勧奨対策の検討を行った。これらの成果をもとに、我が国におけるがん検診の受診率対策に活用できるDecision Aidsの開発を検討していく。

## F. 健康危険情報

なし

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

濱島ちさと

- 1) Hamashima C, Yoshimura K, Fukao A. A study protocol for expanding the screening interval of endoscopic screening for gastric cancer based on individual risks: prospective cohort study of gastric cancer screening. *Ann Transl Med.* 2020 Dec ;8(23):1604. doi: 10.21037/atm-20-5949. (2020.12)
- 2) Huang RJ, Koh H, Hwang JH, Abnet CC, Alarid-Escudero F, Amieva MR, Bruce MG, Camargo MC, Chan AT, Choi IJ, Corvalan A, Davis JL, Deapen D, Epplein M, Greenwald DA, Hamashima C, Hur C, Inadomi JM, Ji HP, Hwoon-Yong Jung, Lee E, Lin B, Palaniappan LP, Parsonnet J, Peek RM, Piazuelo MB, CS, Shah SC, Smith A, So S, Stoffel EM, Umar A, Wilson KT, Woo Y, Yeoh KG: A Summary of the 2020 Gastric Cancer Summit at Stanford University. *Gastroenterology.* 2020 Jul 21;S0016-5085(20)34993-3. doi: 10.1053/j.gastro.2020.05.100. (2020.7.21)
- 3) Hamashima C : The burden of gastric cancer. *Ann Transl Med.* 2020 Jun;8(12):734. doi: 10.21037/atm.2020.03.166. (2020.6.8)

渡邊 清高

- 1) 渡邊 清高. 研究者の最新動向, 医療・健康情報の「評価」から「質の向上」に向けて, メディアドクター指標を活用した研究者・メディア・市民が一体となった取り組み. *Precision Medicine.* 4巻3号:283-288.(2021.3)
- 2) 渡邊 清高, 関 順彦. 骨・軟部腫瘍のゲノム医療とカウンセリング, がんゲノム医療の現状とこれから. *日本整形外科学会雑誌.* 94巻10号:816-823.(2020.10)

後藤 励

- 1) Okuda M, Ichida Y, Yamane K, Ohtsuka R, Yamaguchi M, Goto R, Yamada A, Sannabe A, Kondo N, Oshio T. Preferences for the forms of co-payment and advance payment in healthcare services; a discrete choice experiment. *Asian Pacific Journal of Health Economics and Policy.* 2021;3(2). (2021)
- 2) Emoto N, Soga A, Fukuda I, Tanimura-Inagaki K,

Harada T, Koyano HM, Goto R, Sugihara H. Irrational Responses to Risk Preference Questionnaires by Patients with Diabetes with or without Retinopathy and Comparison with Those without Diabetes. *Diabetes Metab Syndr Obes.* 2020 Dec 14;13:4961-4971. doi: 10.2147/DMSO.S283591. eCollection 2020. (2020)

- 3) Matsuoka Y, Goto R, Atsumi T, Morimura N, Nagao K, Tahara Y, Asai Y, Yokota H, Ariyoshi K, Yamamoto Y, Sakamoto T. Cost-effectiveness of extracorporeal cardiopulmonary resuscitation for out-of-hospital cardiac arrest: A multi-centre prospective cohort study. *Resuscitation.* 2020 Dec;157:32-38. doi: 10.1016/j.resuscitation.2020.10.009. (2020.12)

寺澤 晃彦

- 1) Terasawa T, Iwata M, Hamashima C, Hibino M. Effectiveness of decision aids on cancer screening decision making: an umbrella review protocol. PROSPERO International prospective register of systematic reviews. CRD42021235957. 2021. Available online at: [https://www.crd.york.ac.uk/prospéro/display\\_record.php?RecordID=235957](https://www.crd.york.ac.uk/prospéro/display_record.php?RecordID=235957). (4/30 現在査読中)
- 2) Hibino M, Hamashima C, Iwata M, Terasawa T. Effectiveness of decision aids on cancer-screening decision making: an umbrella review protocol. *BMJ Open.* (投稿中)

### 2. 学会発表

濱島ちさと

- 1) Hamashima C. The value of serologic tests in gastric cancer screening. Topic Forum: Screening Strategies for Gastric Cancer., KDDW2020, [ Online Conference ] . [http://kddw.or.kr/conference/2020\\_html/p\\_intro.php](http://kddw.or.kr/conference/2020_html/p_intro.php). (2020.11.19)
- 2) Hamashima C, Sasaki S, Hoshi K, Hosono S, Katayama T, Terasawa T: Human resources for cervical cancer screening in japan- who should take pap smears for cervical cancer screening? ISPOR 2020, [ Live webinars ] . <https://doi.org/10.1016/j.jval.2020.04.1692>. (2020.5.18-5.20),

渡邊 清高

- 1) 落合 亮介, 渡邊 清高, 春山 輝亘, 石原 昌志, 坂本 貴彦, 丹澤 盛, 本田 健, 太田 修二, 市川 靖子, 遠藤 寛子, 古屋 洋子, 金子 希代子, 安原 真人, 村上文, 関 順彦. *Advance Care Planning*を地域で支える地域包括ケア実践に向けた多職種研修会の取り組み. *板橋区医師会医学雑誌.* (1342-9795)24巻 Page143(2021.1)
- 2) 渡邊 清高, 調 憲, 浅尾 高行, 相羽 恵介, 佐々木 治一郎, 藤 也寸志, 竹山 由子, 片瀨 秀隆, 境 健爾, 吉田 稔, 矢野 篤次郎, 加藤 雅志, 富田 尚裕, 西山 正彦. 地域における

- 連携ニーズの分析による類型化がん医療ネットワークナビゲーターの役割. 日本癌治療学会学術集会抄録集. 58回 Page P-453(2020.10)
- 3) 吉田 稔, 調 憲, 相羽 恵介, 渡邊 清高, 佐々木 治一郎, 富田 尚裕, 竹山 由子, 矢野 篤次郎, 片渕 秀隆. がん診療連携を変える認定ネットワークナビゲーター 認定がん医療ネットワークナビゲーター、指定都道府県での活動報告. 日本癌治療学会学術集会抄録集. 58回 Page SSY15-5(2020.10)
  - 4) 渡邊 清高, 佐藤 正恵, 北澤 京子, 浅井 文和, 本島 玲子, 丸木 一成, 前村 聡, 高野 聡, 大野 智. 新型コロナウイルス感染症流行に関するウェビナー(ウェブセミナー)の効果 リスクコミュニケーションの実践的アプローチ. 日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会プログラム・抄録集. 12回 Page69(2020.9)
  - 5) 渡邊 清高, 春山 輝亘, 落合 亮介, 石原 昌志, 坂本 貴彦, 丹澤 盛, 本田 健, 太田 修二, 市川 靖子, 遠藤 寛子, 古屋 洋子, 金子 希代子, 安原 真人, 村上 文, 関 順彦. 地域におけるがん在宅療養をテーマとした事例検討会での多職種連携に向けたニーズ抽出. Palliative Care Research. (1880-5302)15巻Suppl. Page S907(2020.8)
  - 6) 渡邊 清高. ポストコロナにおけるがんサポーターケア領域の教育・研修・啓発のあり方. Palliative Care Research. (1880-5302)15巻Suppl. Page S165(2020.8)

後藤 励

- 1) (招待講演) 後藤 励. 行動経済学の視点から見た生活習慣への介入. 第41回日本肥満学会シンポジウム7「減量実現に向けた効果的な保健指導を考える」富山市 (オンライン参加) (2021.3.20)
- 2) (招待講演) 後藤 励. 行動経済学と健康 ～ナッジ、インセンティブとその背景～. 第79回日本公衆衛生学会学術総会. 京都市 (オンライン参加) (2020.10.20)

山崎 恭子

- 1) 山崎 恭子, 山岸 貴子, 渡辺 翔, 濱島 ちさと. 大腸がん検診における採便キット配布方法と受診率の関連について. 日本消化器がん検診学会雑誌. 58巻Suppl2, 939(2020)
- 2) 山崎 恭子, 山岸 貴子, 濱島 ちさと. 大腸がん検診に関する自治体保健師の役割について. 日本消化器がん検診学会雑誌. 58巻Suppl1, 558(2020)

H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)

1. 特許取得  
特になし
2. 実用新案登録  
特になし
3. その他  
特になし